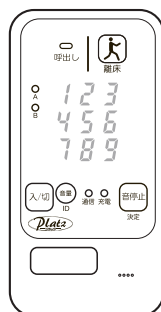
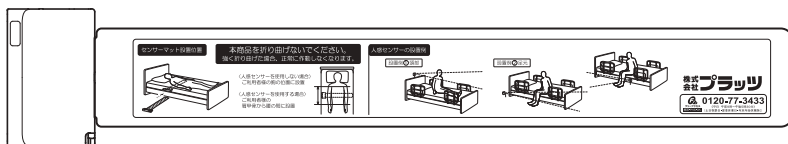


取扱説明書

病院・高齢者施設用 離床センサー(1×9タイプ)

PW03-1N シリーズ



〈保証書付〉

このたびは、病院・高齢者施設用離床センサー（PW03-1N シリーズ）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
保証書は、お買い上げ日・販売店名などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
















目次

禁止事項	3
ご使用上の注意	4
免責	5
その他のお知らせ	5
商品の概要と特徴	6
W センサーシステムの仕組み	7
ご使用の前に	8
各部のなまえと機能	8
センサーマット (PW03-SM1N)	8~9
受信機 (PW02-RM1N)	10~11
人感センサー (HS2-01)	11
各機器の初期設定	
受信機の充電	12
無線チャンネルの設定確認	12
ペアリングについて	13
ペアリングの手順	14~15
ペアリング解除の手順	16
初期化の手順	17
受信機の音量調整の方法	17

センサーマットのベッドへの設置手順	
・人感センサーを使用しない場合	18~19
・人感センサーを使用する場合	20~21
ベッドへの取り付け方法	
・P100 シリーズ	22
・P101 シリーズ	23
・P106 シリーズ	24
・P109 シリーズ	24
・P110 シリーズ	25
・P300 シリーズ	25
・P400 シリーズ	26
・各ベッドへの取付方法	26
人感センサーの設置手順	27
オプション	28
ご使用方法	
・人感センサーを使用する場合	29
・人感センサーを使用しない場合	30
・アラーム音の停止方法	31
・センサーシステムの一時停止方法	31~32
・センサーシステムの短期間停止方法	33
・省電力モードについて	33
メンテナンス方法	34
仕様	34
トラブルシューティング	34


禁止事項

警告

-  本商品の分解・修理・改造を行わないでください。火災や感電、けが、故障の原因になります。
-  電源ケーブルを無理に曲げたり、上に重いものを載せないでください。ケーブルに傷が付き火災・感電、故障の原因になります。電源ケーブルに傷が付いた場合には、使用しないでください。
-  接続ケーブルを抜くときはケーブルを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、芯線の露出や断線の元になり、感電やけが、故障の原因になります。
-  センサーマットを強く折り曲げたり、刃物等で傷をつけないでください。センサーマットが正常に作動しなくなります。
-  センサーマットを60℃以上のものに近づけないでください。
-  40℃以上の環境で充電をしないでください。充電式電池の破損原因になります。
-  植込型心臓ペースメーカーや医療電気機器の近くでは、使用しないでください。電波によりそれらの装置・機器に影響を与える恐れがあります。
-  空港付近での使用は禁止されています。
-  病院内での使用は、総務省のガイドラインを参照いただき、ご理解いただいたうえでのご使用をお願いします。
-  濡れた手で本商品に触れないでください。故障、感電の原因になります。
-  本商品に液体をかけたりしないでください。火災・感電、故障の原因になります。
-  結露した状態で使用しないでください。結露した状態で使用すると、火災、感電、故障の原因になることがあります。
-  水などの液体の近くや油の散る場所、湿気やほこりの多い場所では、使用したり置いたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  サイドレールやベッド用グリップと使われる場合は、隙間に注意してください。体や腕をはさまれ怪我をする恐れがあります。
-  本商品は日本国外ではご利用になれません。

ご使用上の注意

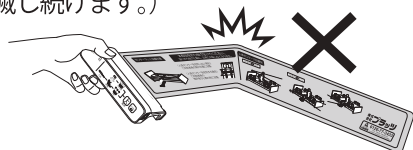
警告

 次のような場所では、使用／保管しないでください。
誤作動や故障の原因になることがあります。

- ・ほこりが多い場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・不安定な場所
- ・衝撃や振動が加わる場所
- ・落下の可能性がある場所
- ・熱のこもる場所
- ・暖房器具の近く
- ・水分や湿気の多い場所
- ・磁気を発するものの近く
- ・風の影響を大きく受ける場所

 本商品を使用する際には、次のことに気を付けてください。

- ・電波の性質上、到達範囲であってもノイズや障害物などにより通信不能に陥る場合が考えられます。
 - ・本商品を保管・設置する場合は水や油などの液体及び異物(特に金属)等が接触したり入り込んだりしないようにしてください。
 - ・本商品に水などが付着あるいは入り込んだ場合、機器の誤動作や破損の原因になります。
 - ・本商品にビニール袋を被せたり、本商品の上に輪ゴムなどを置いたままにしないでください。本商品の表面が変質する原因となります。
 - ・本商品の近くで、飲食・喫煙をしないでください。飲食物や煙草の灰は、故障の原因になります。
 - ・薬品を本商品の近くで使用しないでください。
薬品によっては、付着すると本商品が溶けたり、変形することがあります。
- ご利用者の年齢や体調、お使いのベッドのタイプ(エアマット等)によっては、正常に動作しない場合があります。
- ・ベッド離床時、ベッドやその周辺機器に人が触れている場合、センサーマットが離床の検知をしないことがあります。
 - ・お使いのマットレスが重すぎる場合、センサーマットがうまく反応しないことがあります。(その際、入床ランプが点滅し続けます。)
 - ・本商品を折り曲げないでください。
強く折り曲げた場合、正常に作動しなくなります。



免責

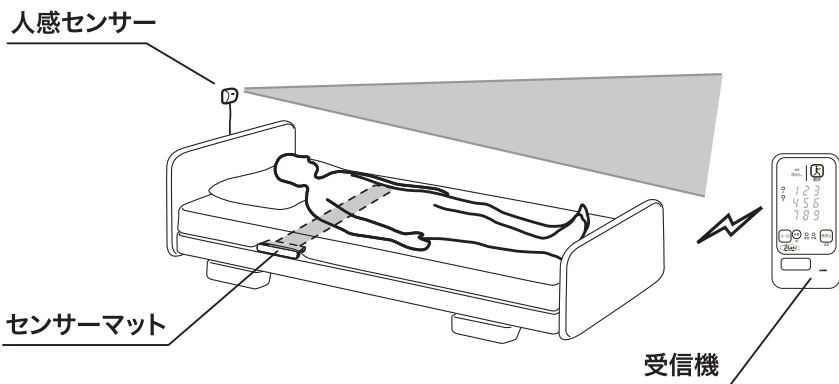
- ・本商品はご利用者様の安全を見守る上での手助けをするものです、転倒、転落を直接的に防止するものではありません。万一発生した人身事故、災害事故等による損害につきましては、弊社は一切責任を負いません。
- ・電波が周辺の機器に影響を与える場所や無線機器の使用が禁止されている場所では電源を入れないでください。電波によりそれらの装置・機器に影響を与える恐れがあります。それによる人身事故、財産損害等が生じても弊社は一切責任を負いません。

その他のお知らせ

- ・本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更する場合がございます。
- ・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や、誤りなどお気づきになりましたら、弊社までご連絡頂きます様宜しく願いいたします。
- ・本商品は改良の為、予告なく仕様を変更する場合がございます。
- ・本商品は日本国内での使用のみ保証が適用されます。
- ・本書及び本商品に使用されている社名及び製品名は、株式会社バイオシルバーまたは弊社の商標・登録商標です。
- ・国内電波法
本商品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明「無線設備規則第49条の14 第7号ならびに8号で規定された特定小電力無線局920MHz帯テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備」の工事設計認証を取得した無線モジュールを内蔵しています。必ず次の事を守ってご使用ください。
※万一、本商品から有害な電波干渉の事例が発生した場合には速やかに使用周波数（無線チャンネル）を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様自身で混信回避のための処置等を行ってください。
- ・内蔵式電池（リチウムイオン電池）について
受信機にはリチウムイオン電池を内蔵しております。
本体から液もれしている場合は、液体に触れたり、目の中にはいらないようにしてください。
万一、液が身体に付着した場合は、水で十分に洗い流し、医師の診断を受けてください。
本体を廃棄する際には、分解せずに弊社へご返却ください。

商品の概要と特徴

病院・高齢者施設用 離床センサー (PW03-1N シリーズ) は、ベッドに設置するセンサーマットと、壁面等に設置する人感センサー、離床情報をアラームでお知らせするポータブル受信機で構成される離床センサーシステムです。
※オプションで、人感センサーを利用することも可能です。



・Wセンサーシステム

病院・高齢者施設用 離床センサー (PW03-1N シリーズ) は、人体の生体情報は、人体の生体情報を感知する bio sync センサー (※) を内蔵したマットと、人の体温で人の動きを感知する 人感センサー を組み合わせることで、誤報を無くし、迅速、確実にご利用者様の離床をお伝えすることが出来ます。

- ・センサーマットはベッドのマットレスの下にセットされるため、ご利用者様がベッド利用時にも違和感がありません。
- ・人感センサーは小型で壁面等に目立たず設置することが出来ます。
- ・無線受信機は小型で携帯性に優れています。
- ・1台の受信機で最大9床 (センサーマット及び人感センサー9台) までの見守りが可能です。

※当セットに含まれるセンサーマット、受信機において可能です。

- ・中継機等、オプション機器による状況に応じた機能拡張が可能です。

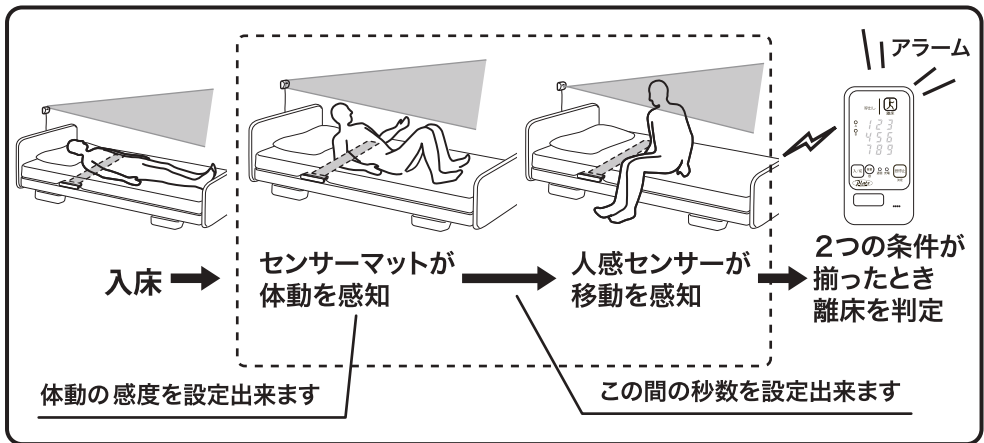
(※) bio sync センサーとは、ご利用者様の心拍・呼吸・体動等の生体信号を感知するセンサーです。

これを内蔵した病院・高齢者施設用 離床センサー (PW03-1N シリーズ) のセンサーマットは、生体信号の有無で離入床を判定していますので、確実に離床をお知らせします。

W センサーシステムの仕組み

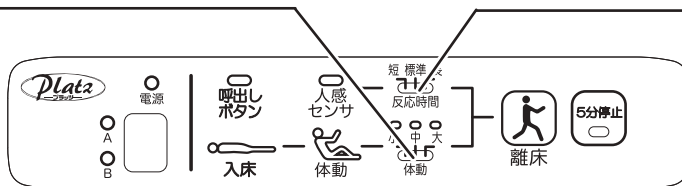
センサーマットが離床の前兆の動き(体動)を感知し、さらに人感センサーが設定された秒数(反応時間)以内に実際の移動を感知したとき、離床を判定します。

- 2つの条件が揃わなければ離床と判定されませんので、寝返りなどによる誤報がありません。
また、ご利用者様が安静時にご利用者様以外の方が人感センサーの感知範囲に入っても離床判定しません。
- 体動の感度を体型や寝具など、個人差や状況に合わせて調整することが出来ます。
- 体動の感知から人感センサーの感知までの秒数を個人差や状況に合わせて設定することが出来ます。



体動の設定スイッチ

反応時間の設定スイッチ



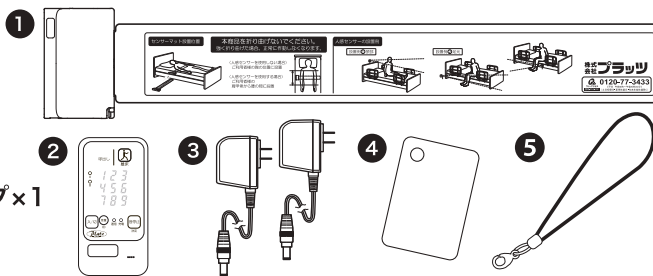
※センサーマット操作部

ご使用の前に

PW03-1Nシリーズ (AC電源タイプ)

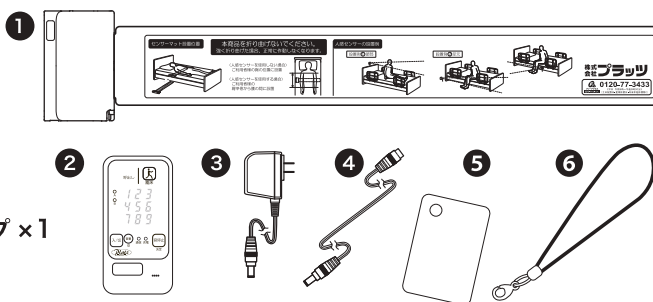
セット内容

- ① センサーマット ×1
- ② 受信機 ×1
- ③ ACアダプター ×2
- ④ 名前カード ×1
- ⑤ カニカン付ストラップ ×1
- ⑥ 取扱説明書(本書) ×1
- ⑦ 固定ひも ×2



セット内容

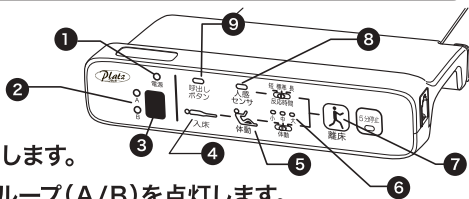
- ① センサーマット ×1
- ② 受信機 ×1
- ③ ACアダプター ×1
- ④ DC電源ケーブル ×1
- ⑤ 名前カード ×1
- ⑥ カニカン付ストラップ ×1
- ⑦ 取扱説明書(本書) ×1
- ⑧ 固定ひも ×2



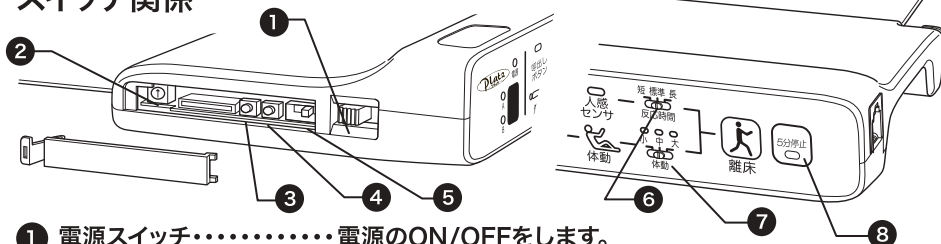
各部のなまえと機能

センサーマット (PW03-SM1N)

- ① 電源LED(緑).....電源が入ると点灯します。
- ② グループLED(緑).....設定されているグループ(A/B)を点灯します。
- ③ ID番号LED(緑).....設定されているID番号(1~9)を表示します。
- ④ 入床LED(青).....入床すると点灯します。
〔人感センサーを使用しない場合〕体圧を感知すると点滅し、生体信号を感知すると点灯します。
〔人感センサーを使用する場合〕心拍・呼吸を15秒間感知すると点灯します。
- ⑤ 体動LED(橙).....設定されたレベル以上の体動を感知すると点灯します。
- ⑥ 体動レベルLED(橙).....体動の大きさを3段階に表示します。
- ⑦ 離床LED(赤).....離床を感知すると点灯します。
- ⑧ 人感センサーLED(赤).....人感センサーが反応すると点灯します。
- ⑨ 呼出しLED(黄).....呼出しボタン(※別売)を押すと点灯します。

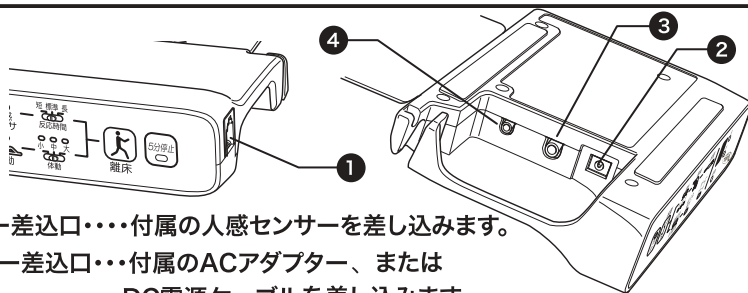


スイッチ関係



- ① 電源スイッチ……………電源のON/OFFをします。
- ② 無線チャンネルスイッチ…無線チャンネルを設定します。
※1~7の位置でご利用ください。(7~0は同一チャンネルです。)
- ③ ペ어링スイッチ……………短押しでグループが切り替わります。
2秒間長押しでペ어링データを送信します。
- ④ ID設定スイッチ……………押すとIDが切り替わります。
- ⑤ 呼出しボタン入力/ナースコール出力切替スイッチ
…呼出しボタン入力とナースコール出力を切り替えます。
- ⑥ 反応時間設定スイッチ…離床を判定する秒数を調整します。
〔人感センサーを使用しない場合〕
体動を感知してから人感センサーが反応して、離床判定するまでの時間を調整します。〔人感センサーを使用する場合〕
- ⑦ 体動設定スイッチ……………通常使用時は「中」に設定してください。センサーマットの上にマットレスを置き入床LEDが点滅する場合は、「大」に設定してください。〔人感センサーを使用しない場合〕
体動を感知するレベルを調整します。〔人感センサーを使用する場合〕
- ⑧ 5分停止スイッチ……………2秒間長押しすると呼び出し機能が5分間停止します。
解除する場合は、再度2秒間長押ししてください。

出入力関係

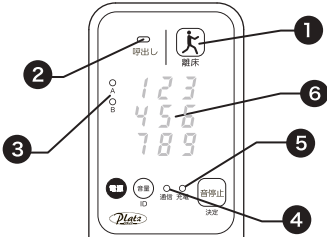


- ① 人感センサー差込口…付属の人感センサーを差し込みます。
- ② ACアダプター差込口…付属のACアダプター、またはDC電源ケーブルを差し込みます。
- ③ 呼出しボタン入力/ナースコール出力ケーブル差込口
…呼出しボタン(※別売)
またはナースコール出力ケーブル(※別売)を差し込みます。
- ④ 一時停止外部入力用差込口…一時停止ボタン(※別売)を差し込みます。

受信機(PW02-RM1N)

LED関係

- 1 離床LED(赤)..... 離床を感知すると点灯します。
- 2 呼出しLED(黄)..... 呼出しボタンが押されると呼出し中に点灯します。
- 3 グループLED(緑)..... 受信機の設定グループ(A/B)を点灯します。
- 4 通信LED(緑)..... 通信中は点灯します。
通信に異常がある場合は点滅します。
- 5 充電LED(赤)..... 充電中は点灯し、充電が完了すると消灯します。
電池残量が低下した時は点滅します。
充電中に異常を検知した場合は、点滅します。
- 6 ID番号LED(黄/赤).... 離床を感知(赤)/呼出しボタンが押される(黄)/通信エラー時(赤)に対象のセンサーマットのID番号が点滅します。



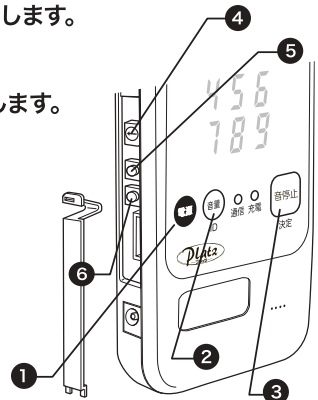
※離床時は離床LED点灯と同時に点滅します。

※呼出しボタンが押された時は呼出しLED点灯と同時に点滅します。

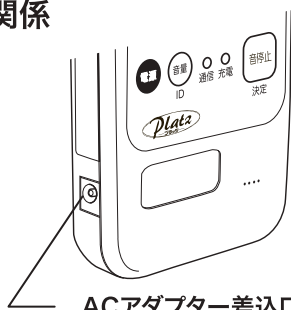
※通信エラー時は、通信LEDと同時に点滅します。

スイッチ関係

- 1 電源スイッチ..... 1秒間押すと電源が入ります。
4秒間長押しすると電源が切れます。
- 2 音量スイッチ..... 短押しで音量を4段階(小/中/大/無)に調整します。
押す毎に音量が切り替わり、無→小に戻ります。
ペアリングモード時は、ID選択に使用します。
- 3 音停止
スイッチ..... 短押しでアラーム音が止まります。
ペアリングモード時は、ID決定に使用します。
- 4 無線チャンネル
スイッチ..... 無線チャンネルを設定します。
※1~7の位置でご利用ください。
(7~0は同一チャンネルです。)
- 5 ペアリング
スイッチ..... 5秒間長押しでペアリングモードに入ります。
短押しでグループ選択に使用します。
- 6 リセット
スイッチ..... 押すと強制電源OFFされます。

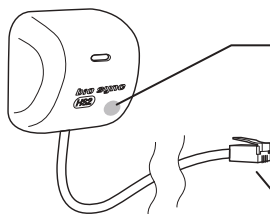


入出力関係



ACアダプター差込口………付属のACアダプターを差し込みます

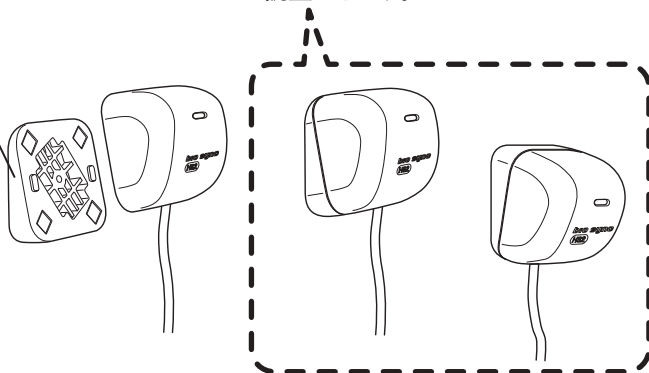
人感センサー(HS2-01)



動作確認LED(緑)……反応すると点灯します。
※カバー内部に内蔵されています(点灯時光りが透過します)。

モジュラーケーブル……センサーマットに差し込みます。

角度調整アタッチメント……設置方向を変えてセンサー角度を調整できます。



各機器の初期設定

受信機の充電

受信機はご使用前に充電が必要です。

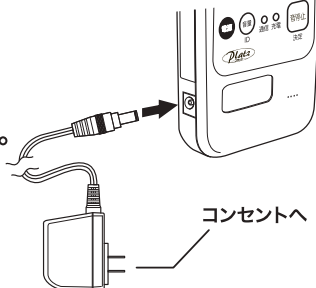
付属のACアダプターを接続し、充電してください。

※充電完了までの時間は約2時間です。

4時間たっても充電が完了しない場合は故障です。

ACアダプターを抜き、修理をご依頼ください。

※0℃以下、若しくは40℃以上の場所では充電
しないで下さい。故障の原因になります。



無線チャンネルの設定確認

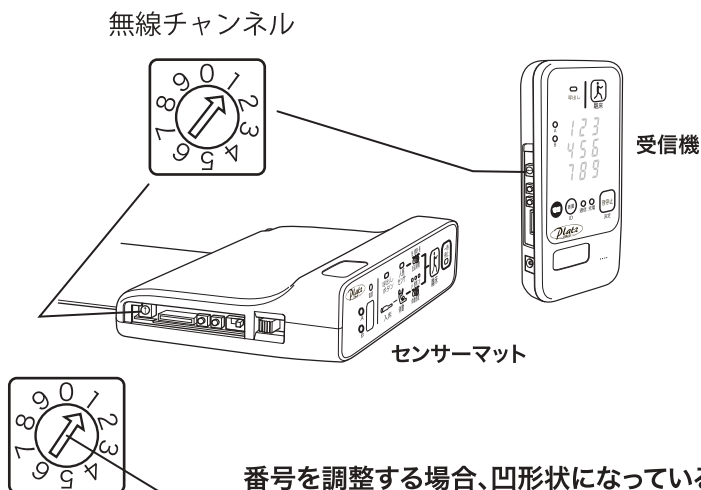
センサーマットと受信機の無線チャンネルが同じになっているかを
電源を入れる前に確認してください。

違う場合は同じ番号に合わせてから電源を入れてください。

※出荷時は1に設定されています。

※1～7のチャンネルを使用してください(7～0は同一チャンネルです)。

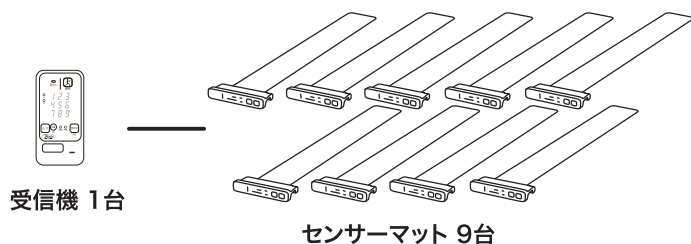
※センサーマット、受信機を追加する場合もチャンネルを同じにしてください。



ペアリングについて

病院・高齢者施設用 離床センサー (PW03-1N シリーズ) の便利な機能を使用するためには、ご使用前にセンサーマットと受信機をペアリングする操作が必要です。（※追加のセンサーマット及び受信機をご購入の場合）

- 1台の受信機に最大9台までのセンサーマットをペアリングすることができます。
※追加のセンサーマット及び受信機はそれぞれ別売りになります。



- グループ設定機能
A/B2つのグループを使い分けることで、ご使用の状況に合わせてシステムを組立てることができます。
※1台のセンサーマット、受信機はそれぞれA/B何れかのグループのみに設定されます。2つのグループにまたがった設定はできません。
- ID番号設定機能
センサーマットのID番号を設定し、離床や、呼出し情報を受信機に番号でお知らせすることができます。
※1～9番までの設定が可能です。

ペアリングの手順

ご使用になる前に以下のペアリング操作を行ってください。

※出荷時はAグループの「1」に設定されています。

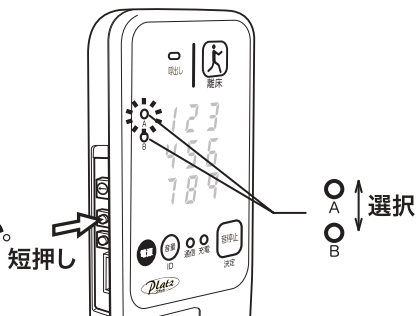
※センサーマット、受信機共に電源を入れた状態で操作を行ってください。

※アラーム発生時にはペアリング操作は出来ません。

1. 受信機のペアリングスイッチを短押しし、使用するグループを選択します。

※短押しする毎にA/BのLEDが順番に点灯します。

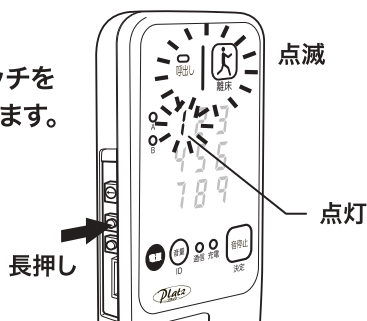
使用するグループに合わせてください。



2. グループを決めたら受信機のペアリングスイッチを5秒以上長押しし、ペアリングモードに移行します。

※ペアリングモードに移行すると、呼出しLED、離床LEDが点滅します。

※ペアリング済みのID番号が有る場合その番号が点灯します。

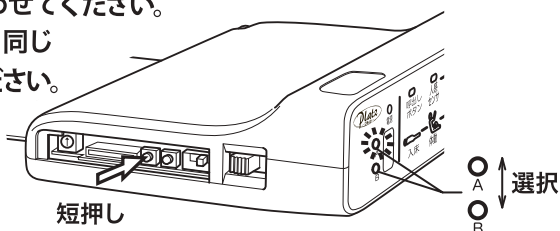


3. センサーマットのペアリングスイッチを短押しし、使用するグループを選択します。

※短押しする毎にA/BのLEDが順番に点灯します。

使用するグループに合わせてください。

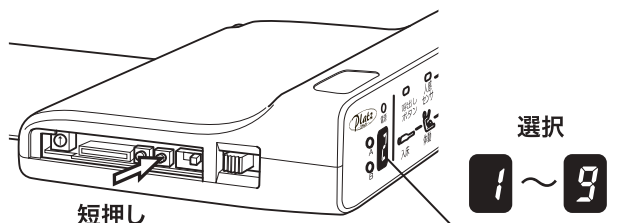
※ペアリングする受信機と同じグループに合わせてください。



4. センサーマットのID設定スイッチを短押しし、設定する番号を選択します。

※押す毎に番号が順番に進み、9→1に戻ります。

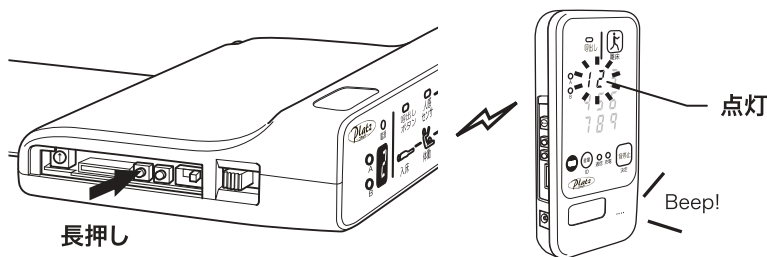
※未設定の番号を選びます(2.の操作時受信機で点灯していない番号)。



5. センサーマットのペアリングスイッチを2秒間長押しすることで、受信機にペアリング情報が送信されます。

ペアリングが成功すると、受信機のBeep音が1回鳴り、設定されたID番号が点灯します。

※登録済みのIDを登録しようとするBeep音が5回鳴り、エラーとなります。

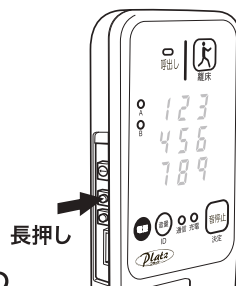


6. ペアリングが完了したら受信機のペアリングスイッチを5秒以上長押ししペアリングモードを終了してください。

※この操作を行わなくても、ペアリング完了から1分間経過すると自動的にペアリングモードが終了します。

※連続して複数台のペアリングを行う際は上記3~5の手順を1分の間に行ってください。

※ペアリングモード終了後、受信機のペアリング操作の各点滅、点灯は消え、見守り状態に入ります。

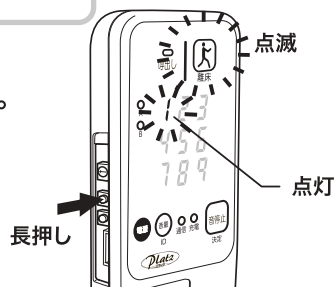


ペアリング解除の手順

※ アラーム発生時にはペアリング解除操作は出来ません。

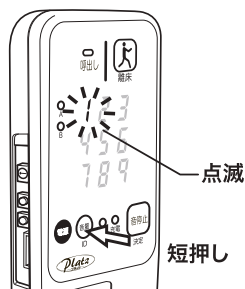
1. 受信機のペアリングスイッチを5秒以上長押しし、ペアリングモードに移行します。

※ペアリングモードに移行すると、
呼出しLED、離床LEDが点滅します。
※ペアリング済みのIDの番号が点灯します。



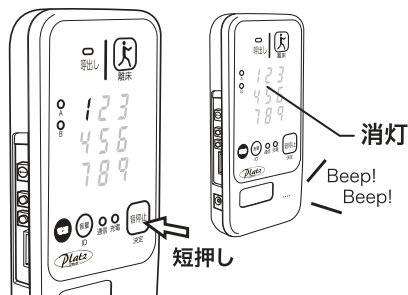
2. 受信機の音量スイッチを短押しし、解除したいID番号を点滅させます。

※短押しする毎に番号が順番に点滅します。



3. 受信機の音停止スイッチを短押ししてID削除を決定します。

削除が完了すると、Beep音が2回鳴り、
解除されたID番号が消灯します。



4. ペアリング解除が完了したら受信機のペアリングスイッチを5秒以上長押ししペアリングモードを終了してください。

※この操作を行わなくても、ペアリング解除完了から
1分間経過すると自動的にペアリングモードが
終了します。

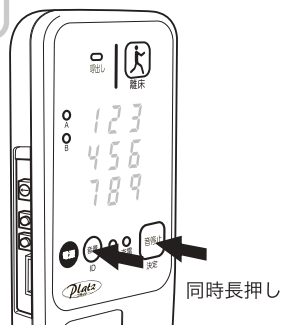


初期化の手順

※アラーム発生時には初期化操作は出来ません。

受信機の音量スイッチと音停止スイッチを同時に長押し(約5秒)すると初期化されます。

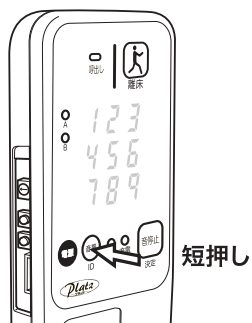
※初期化されるとIDの1～9のLEDがすべて点灯した後、消灯します。



受信機の音量調整の方法

音量スイッチを短押しし、
鳴らしたい音量に設定します。

※短押しで音量を4段階(小/中/大/無)に調整できます。押すごとに音量が切り替わります。



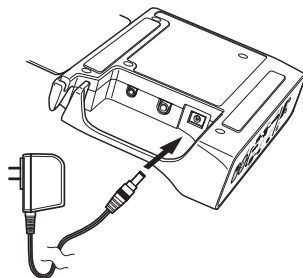
センサーマットのベッドへの設置手順

センサーマットを正常に作動させるために、以下の手順、注意に従い、ベッドへの設置、及び調整を行ってください。

人感センサーを使用しない場合

1. センサーマットにACアダプターを差し込みコンセントに差し込みます。

※DC電源ケーブルをご使用の場合は、
22~26 ページを参照ください。



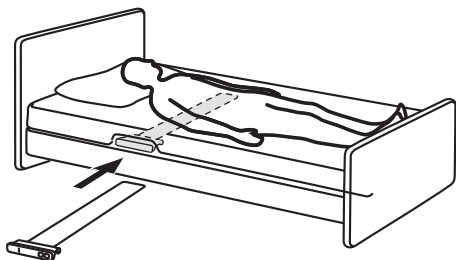
2. ベッドのマットレスの下にセンサーマットを設置します。

ご利用者様の胸の位置に設置してください。

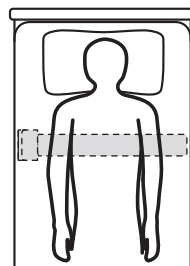
※マットレスは厚さ 18 cm まで対応しています。

※ウォーターベッド、一部のスプリングマット、一部の褥瘡予防マット、
エアーマット等ご利用になれない場合がございます。

※必要に応じて、固定ひもで固定してください。

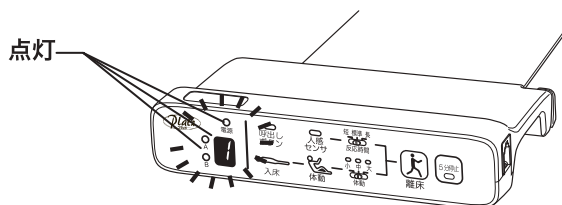


胸の位置に
設置



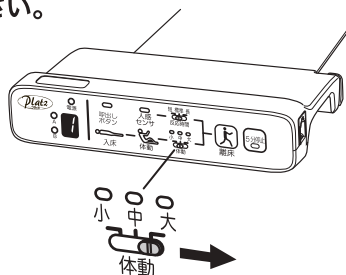
3. 人感センサーを設置し、電源スイッチを入れます。

※電源が入ると、電源LED、グループLED、ID番号LEDが点灯します。



4. センサーマットの上にマットレスを置いてだけで入床LEDが点滅する場合は、体動感度を「大」に設定してください。

※体動感度を「大」に設定しても点滅が続く場合は、別のマットレスに交換して使用してください。

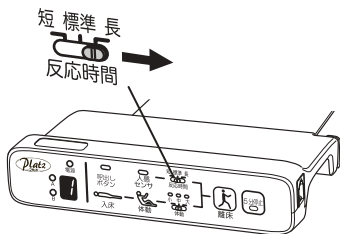


5. ご利用者様の動き等に合わせて必要に応じ反応時間スイッチで反応時間を設定します。

※「標準」は体を起こしてから3秒後に離床と判定します。

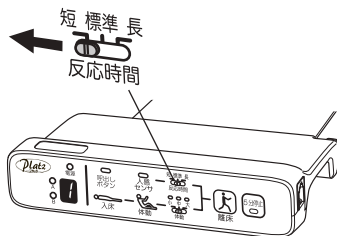
設定例 ①

反応時間を「長」に設定した場合は、体を起こしてから4秒後に離床と判定します。



設定例 ②

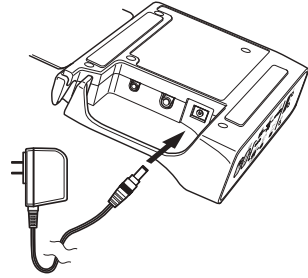
反応時間を「短」に設定した場合は、体を起こしてから2秒後に離床と判定します。



人感センサーを使用する場合

1. センサーマットにACアダプターを差し込みコンセントに差し込みます。

※DC電源ケーブルをご使用の場合は、
22~26 ページを参照ください。



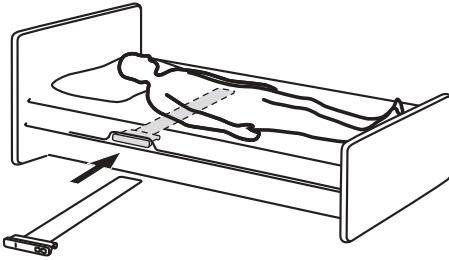
2. ベッドのマットレスの下にセンサーマットを設置します。

ご利用者様の肩甲骨から腰の間に設置してください。

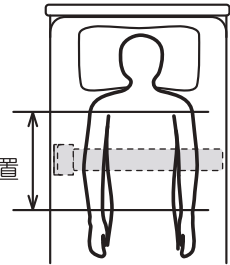
※マットレスは厚さ 18 cm まで対応しています。

※ウォーターベッド、一部のスプリングマット、一部の褥瘡予防マット、
エアーマット等ご利用になれない場合がございます。

※必要に応じて、固定ひもで固定してください。



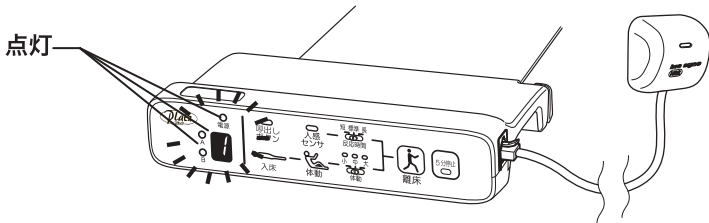
肩甲骨から
腰の間に設置



3. 人感センサーを設置し、電源スイッチを入れます。

※電源が入ると、電源LED、グループLED、ID番号LEDが点灯します。

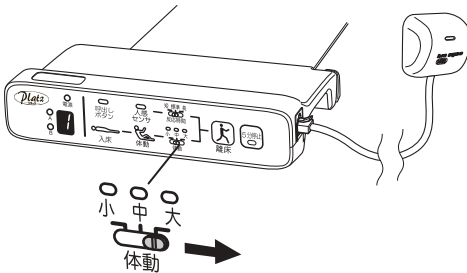
※人感センサーの設置につきましては、P.27を参照してください。



4. ご利用者様の体型や寝具に合わせて必要に応じて体動設定スイッチで体動感知の感度を設定します。

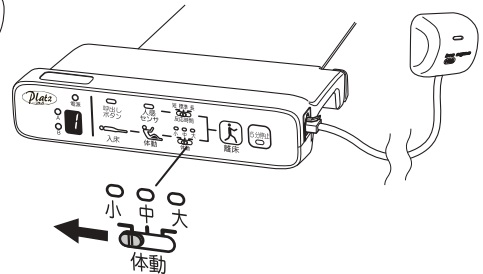
設定例 ①

ご利用者様が安静時に体動LEDが点灯する場合、体動感度を「大」に設定します。



設定例 ②

ご利用者様が寝返りをしても体動LEDが点灯しない場合、体動感度を「小」に設定します。

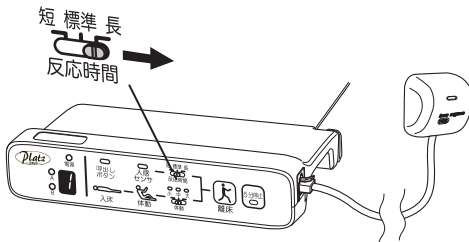


5. ご利用者様の動きや人感センサーの設置位置に合わせて必要に応じ反応時間スイッチで反応時間を設定します。

※「標準」は体動があつてから10秒以内に人感センサーに反応があつた場合、離床と判定します。

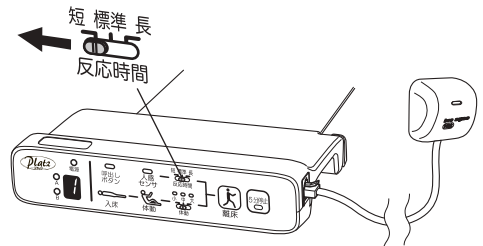
設定例 ①

人感センサーを足元に設置する場合は、反応時間を「長」に設定します。
※「長」は30秒以内に設定されます。



設定例 ②

頭部付近に設置、または感知時間が短い場合、反応時間を「短」に設定します。
※「短」は5秒以内に設定されます。



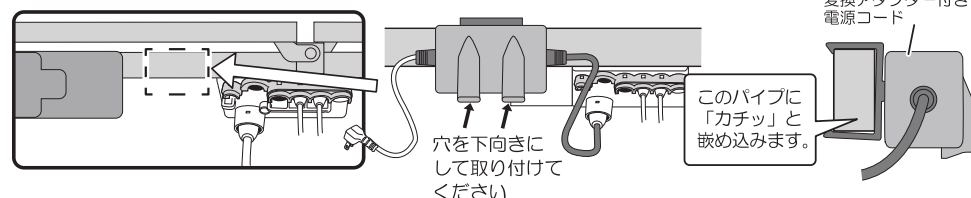
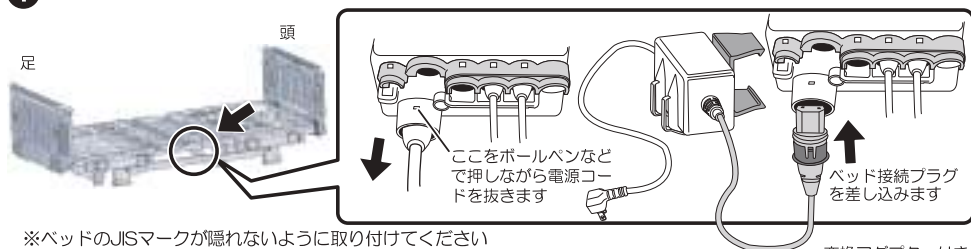
※DC電源ケーブルをご使用の際は、変換アダプター付電源コードが必要となります。下記のベッドに対応した方法での取り付けを行ってください。

ベッドへの取り付けの前に

- ①ご利用者はベッドから降りていただき、マットレスも降ろします
- ②ベッドの電源プラグを抜きます

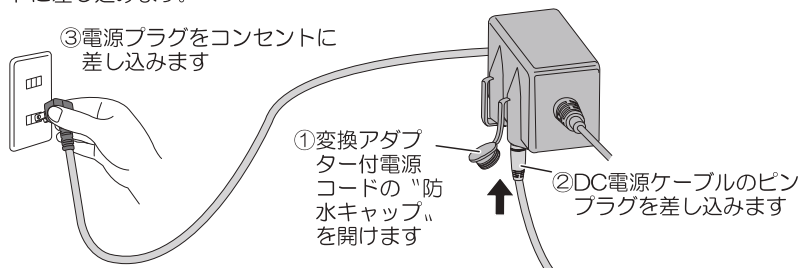
P100(ミオレット フォーユー)シリーズに取り付ける場合

- ① センターフレーム下図位置の電源部の変換アダプター付電源コードに入れ換えます。



全機種共通

- ② DC電源ケーブルのピンプラグを変換アダプター付電源コードに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

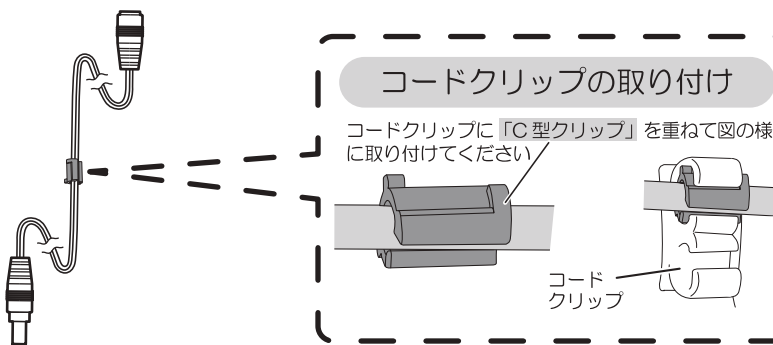


注意

ベッド操作時にコードが駆動部に巻き込まれないように注意して、コードの配線をしてください。

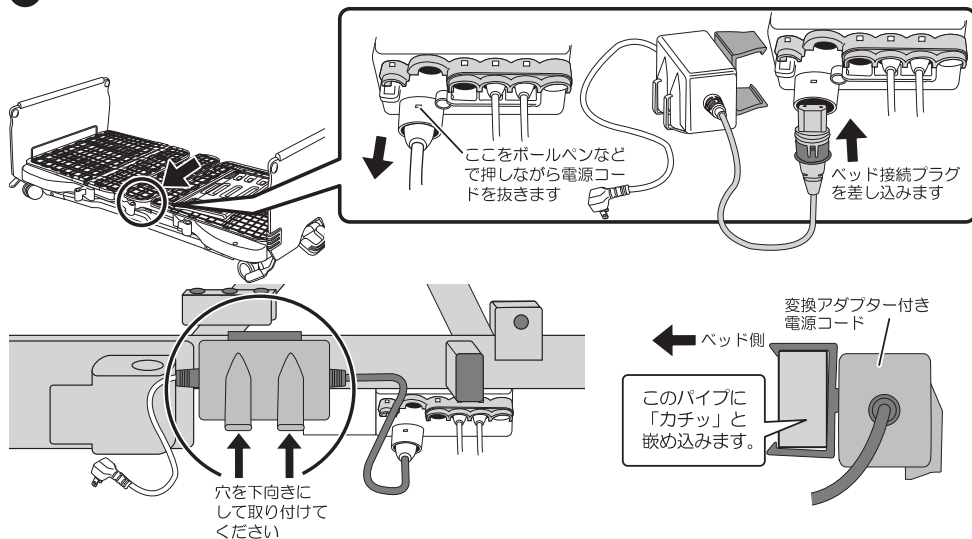
コードの取り直し

DC 電源ケーブルに取り付けられた「C 型クリップ」を各種ベッドに取り付けられたコードクリップに取り付けてください。



P101(アルティレット トゥーユー)シリーズに取り付ける場合

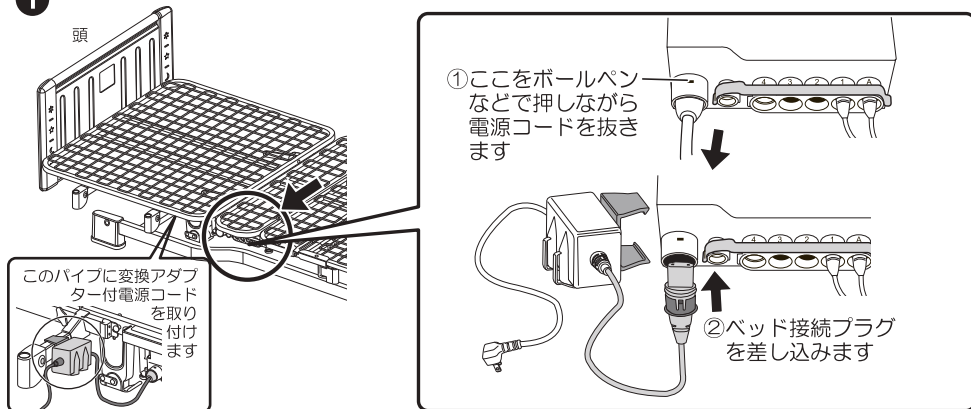
- ① センターフレーム下図位置の電源部の電源コードを変換アダプター付電源コードに入れ換えます。



22 ページ② を参照して DC 電源ケーブルのピンプラグを変換アダプター付電源コードに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

P 106(ミオレットII)シリーズに取り付ける場合

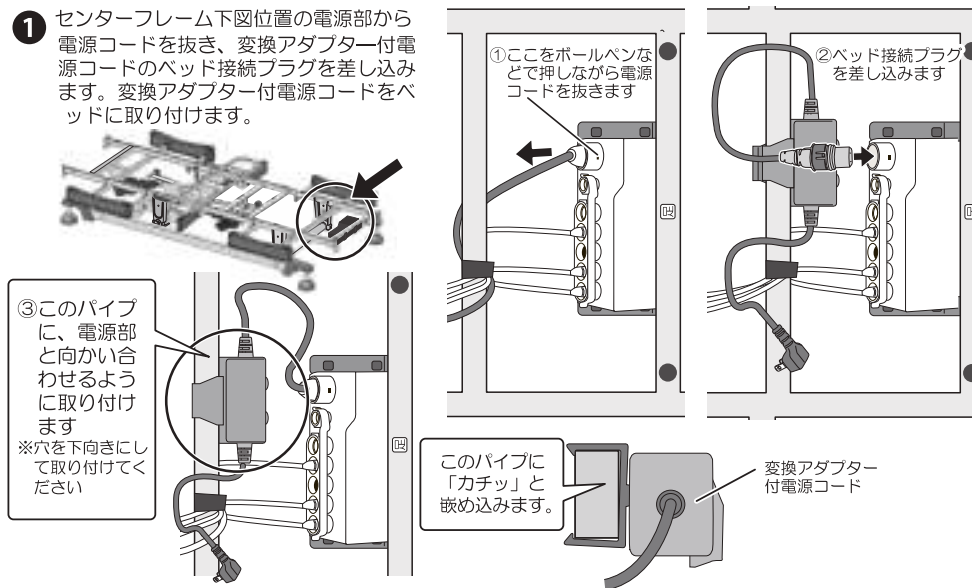
- ① センターフレーム下図位置の電源部の電源コードを変換アダプター付電源コードに入れ換えます。



22 ページ②を参照して DC 電源ケーブルのピンプラグを変換アダプター付電源コードに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

P 109(アルティレット)シリーズに取り付ける場合

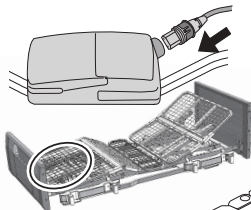
- ① センターフレーム下図位置の電源部から電源コードを抜き、変換アダプター付電源コードのベッド接続プラグを差し込みます。変換アダプター付電源コードをベッドに取り付けます。



22 ページ②を参照して DC 電源ケーブルのピンプラグを変換アダプター付電源コードに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

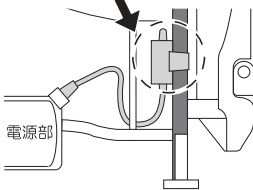
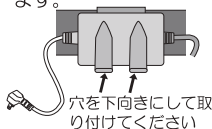
P110 (ラフィオ)シリーズに取り付ける場合

- ① フットフレーム下図位置の電源部の電源コードを変換アダプター付電源コードに入れ換えます。



- ② 変換アダプターの差込穴を下向きにしてパイプに取り付けます。

この場所に取り付けてください



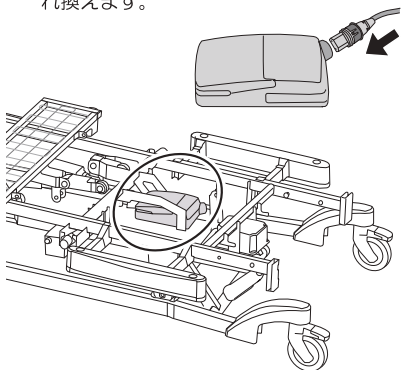
⚠ 確認

超低床用キャスター
(PC01-5CK) 使用時には、
ご使用いただけません。

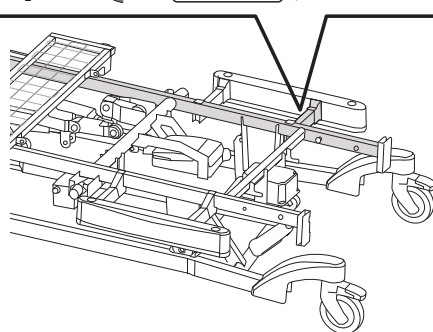
22 ページ② を参照して DC 電源ケーブルのピンプラグを変換アダプター付電源コードに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

P300 (医療・施設用電動ベッド)シリーズに取り付ける場合

- ① センターフレーム下図位置の電源部の電源コードを変換アダプター付電源コードに入れ換えます。



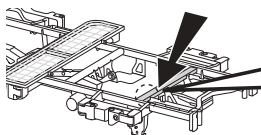
- ② 変換アダプターの差込穴を下向きにして下記の場所に取り付けます。



22 ページ② を参照して DC 電源ケーブルのピンプラグを変換アダプター付電源コードに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

P400 (アーデル)シリーズに取り付ける場合

- 1 センターフレーム下図位置に変換アダプター付電源コードを取り付けます。



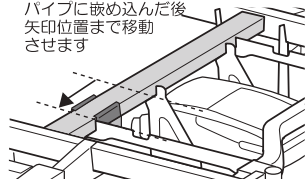
このパイプに「カチッ」と嵌め込みます。

変換アダプター付電源コード

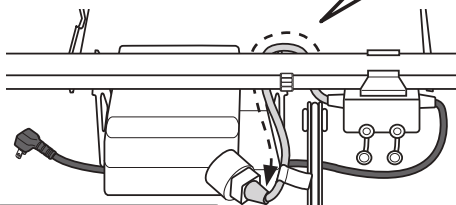
プラグ取り付け穴を頭側に向けて取り付けてください



パイプに嵌め込んだ後矢印位置まで移動させます

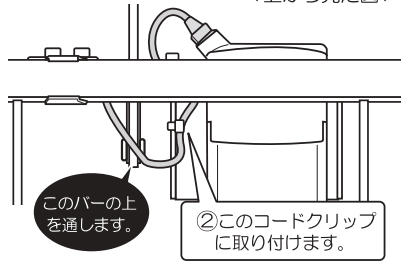


- 2 電源部の電源コードを抜き、変換アダプター付電源コードを挿し込んでください。



①電源部に挿し込みます。

〈上から見た図〉



このバーの上を通します。

②このコードクリップに取り付けます。

22 ページ 2 を参照して DC 電源ケーブルのピンプラグを変換アダプター付電源コードに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

各ベッドへの取付方法は下記 QR コードからご覧いただけます



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

ホームページでもご覧いただけます

<http://www.platz-ltd.co.jp/support/manual/index-jinkan.html>

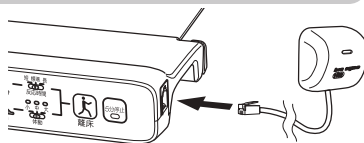
人感センサーの設置手順

人感センサーは裏面にマグネットを内蔵していますので、金属製のベッドボトム等には、そのまま設置出来ます。壁面等には付属の両面テープにて設置してください。

※人感センサーに角度調整アタッチメントを使用の際は、マグネットによる取り付けが出来ないため、付属の両面テープにて設置してください。

※人感センサーは反応すると内蔵のLEDが点灯しますので、電源を入れた状態で反応状況を確認しながらの設置をお勧めいたします。

1. センサーマット到人感センサーのケーブルを差し込み、電源を入れます。

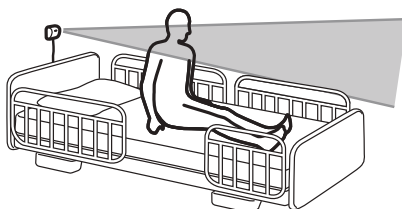


2. 反応させたいタイミングによって人感センサーの設置位置を決めます。

設置例 ① 頭部

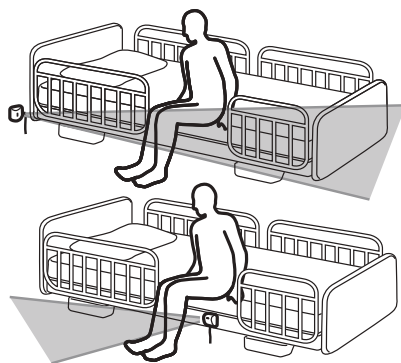
上体を起こした時に反応させたい場合は、頭部側に設置します。

※頭部側に設置する場合、寝返りで反応しない位置に設置してください。



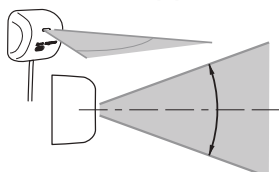
設置例 ② 足元

ベッドから足を下した時に反応させたい場合は、足元に設置します。

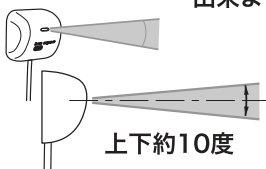


人感センサーの感知範囲

左右方向の方が上下よりも広い感知範囲が設定されています。

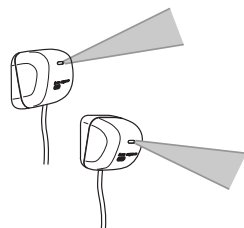


左右約40度



上下約10度

角度調整アタッチメントを取り付けることで、上下方向それぞれ、約15度の角度調整が出来ます。



オプション

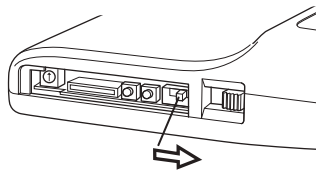
呼出しボタンを使用する場合

呼出しボタンを接続することが出来ます。

※ケーブルの抜き差しは電源OFFの状態で行ってください。

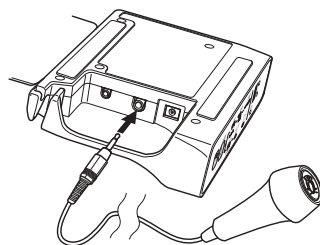
電源ONのままスイッチ切替、プラグの抜き差しを行うと故障の原因となります。

1. 入出力切り替えスイッチをIN(右にスライド)に設定します。



2. 呼出しボタン(※別売)を呼出しボタン入力/ナースコール出力差込口に差し込みます。

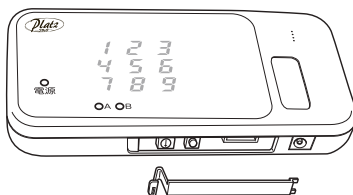
※呼出しボタンが押された場合、センサーマットの呼出しLEDと、受信機の呼出しLEDが点灯し、該当するセンサーマットのID番号が点滅し、アラーム音が鳴ります。



中継機について

建物の構造等により、電波が届き難い場合に中継機が用意されています(※別売)。

※中継機の機能、設置の詳細につきましては、中継機付属の説明書をご覧ください。

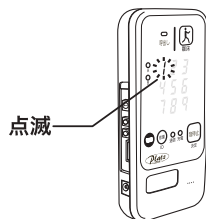


ご使用方法

人感センサーを使用しない場合

1. センサーマット、受信機の電源を入れます。

2. ベッド上に誰もいない状態の時は受信機の設定されたID番号のLEDが点滅します。

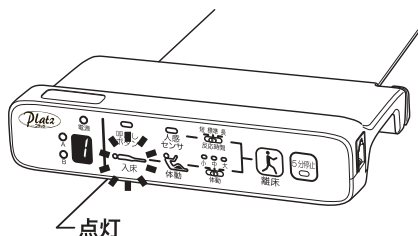


3. ご利用者様がベッドの上に寝ると

センサーマットが生体信号と体圧を感知します。

※体圧を感知するとセンサーマットの入床LEDが点滅します。

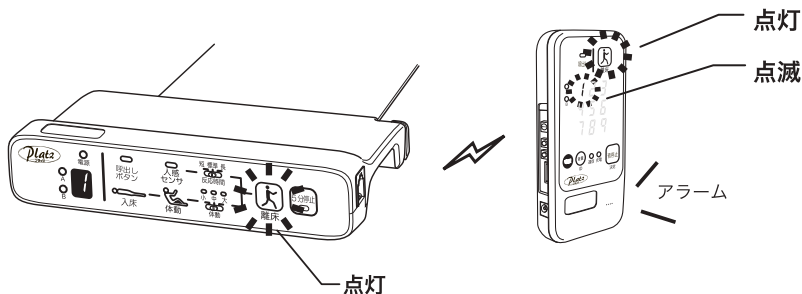
呼吸の生体信号を感知するとセンサーマットの入床LEDが点灯し、受信機の該当するID番号LEDの点滅が終了します。



4. 下記の状態になった時、離床を判定しお知らせします。

※入床中にご利用者様が起き上がり、体圧を感知しなくなった時。
もしくは、心拍の生体信号を感知しなくなった時。

5. 離床を判定すると、センサーマットの離床LED受信機の離床LEDが点灯、該当するセンサーマットのID番号が点滅し、アラーム音が鳴ります。



人感センサーを使用する場合

1. センサーマット、受信機の電源を入れます。

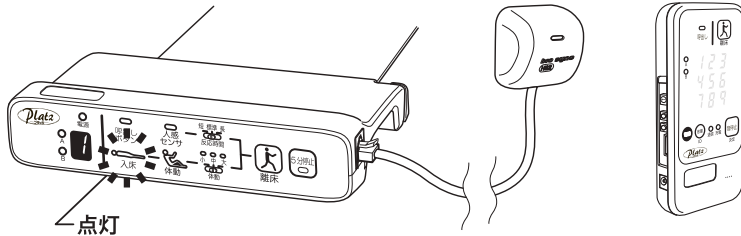
2. ベッド上に誰もいない状態の時は受信機の
離床LEDが点滅します。

点滅



3. ご利用者様がベッドの上に寝るとセンサーマットが生体信号を感知します。

※15秒間感知されると、センサーマットの入床LEDが点灯し、
受信機の該当するID番号LEDの点滅が終了します。

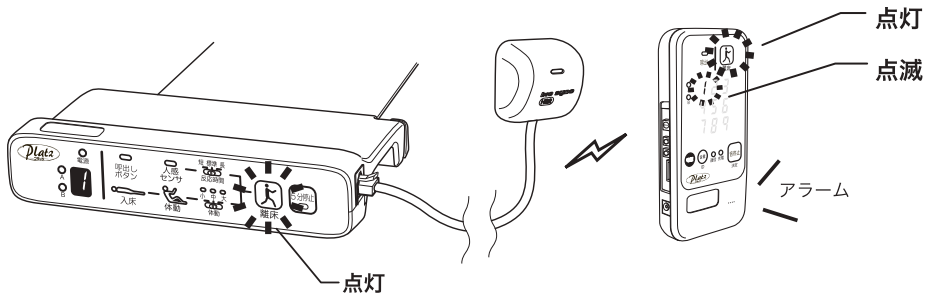


点灯

4. 下記の状態になった時、離床を判定しお知らせします。

※入床中にご利用者様が起き上がる動作を感知し、
更に、設定した時間内に人感センサーに反応があった時。

5. 離床を判定すると、センサーマットの離床LEDが点灯し、受信機の離床LEDが
点灯、該当するセンサーマットのID番号が点滅し、アラーム音が鳴ります。



点灯

点滅

アラーム

点灯

アラーム音の停止方法

以下の方法でアラーム音を停止します。

※再び入床することでアラームから通常状態に復帰します。

受信機の音停止スイッチを短押しすることでアラーム音が止まります。

※この操作ではアラーム音のみが止まった状態です。

※アラーム音のみを止め、現状確認に向かう際等に使用します。



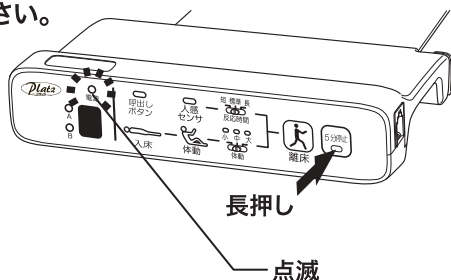
センサーシステムの一時停止方法

ご利用者様の移動時等、一時的にセンサーシステムを停止させたい場合、以下の操作を行います。

センサーマットの5分停止スイッチを2秒間長押しするとアラームの機能が5分間停止します。

※一時停止中は電源LEDが点滅します。

※上記の停止時間以内に通常見守り状態に復帰する場合は、もう一度センサーマットの5分停止スイッチを2秒間長押ししてください。



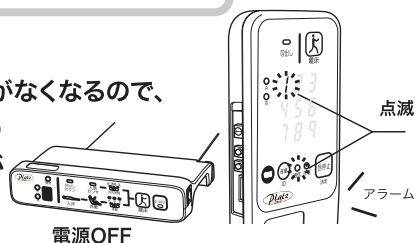
センサーシステムの短期間停止方法

ご利用様の一時的な不在時等、ペアリングを解除しなくても
短期間センサーシステムを停止させることができます。

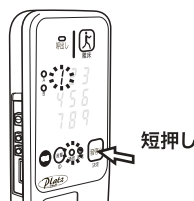
※長期間使用しない場合はペアリングの解除を行ってください。

1. センサーマットの電源スイッチを切ります。

受信機は電源の切られたセンサーマットとの通信がなくなるので、
通信エラー状態になり、該当するセンサーマットの
マットのID番号と通信LEDが点滅し、アラーム音が
鳴ります。



2. 受信機の音停止スイッチを短押しすると アラーム音が停止します。



3. 受信機の音停止スイッチを1.5秒長押しすると

ID番号と通信LEDの点滅が停止し、一時的な停止状態に
なります。

※この状態で受信機の電源を切り、再度電源を入れると
通信エラー状態に戻ります。

再び一時的な停止状態にするためには同じ操作が
必要です。



4. センサーマットの電源を入れると自動的に復帰、通常の使用状態に戻ります。

※復帰時に必ず動作確認を行ってください。

ベッド上に誰もいない状態でセンサーマット、受信機共に
アラーム状態になるかご確認ください。

省電力モードについて

センサーマットは無操作2分が経過した場合、電源LEDが減光し、
その他のLEDは消灯します。

※アラームが発生したり、反応時間設定スイッチと体動設定スイッチを除く
いずれかのスイッチを押すと、省電力モードから復帰します。

メンテナンス方法

お手入れの際には電源を切り、コンセントおよびセンサーマット、または DC 電源ケーブルを抜いた状態にして行ってください。

- ・機器の表面を拭く場合は薄い中性洗剤を含ませた柔らかい布をよく絞ってご使用ください。
※濃いアルコール、シンナー、ベンジンなどは印刷等への損傷を招くため
使用しないでください。
- ※化学雑巾を使用する際は、その注意書きに従ってください。
- ・定期的に各機器の動作の確認を行ってください。

仕様

1. センサーマット PW03-SM1N

項目		仕様
全般	外形寸法	樹脂ケース部 140 x 30 x 90 mm マット部 710 x 100 x 10 mm
	重量	395±20g
	使用環境温度	-5~40°C
	使用環境湿度	15%~85%RH
	保存環境温度	-10~60°C
電気	電源電圧	5.0±0.5V (ACアダプター)
	消費電流	1A以下
無線仕様	送受周波数	920MHz帯 (特定小電力)
	送信出力	20mW
	到達距離	見通し100m (参考)

2. 受信機 PW02-RM1N

項目		仕様
全般	外形寸法	58 x 116 x 17 mm
	重量	76±5g
	使用環境温度	-5~40°C
	使用環境湿度	15%~85%RH
	保存環境温度	-10~60°C
電気	電源電圧	5.0±0.5V (ACアダプター) / リチウムイオンバッテリー
	消費電流	1A以下
無線仕様	送受周波数	920MHz帯 (特定小電力)
	送信出力	20mW
	到達距離	見通し100m (参考)

3. 人感センサー HS2-01

項目		仕様
全般	外形寸法	40x40x24 mm (センサー単体) 40x40x33 mm (角度調整アタッチメント込み)
	重量	78±5g
	使用環境温度	-5~40°C
	使用環境湿度	15%~85%RH
	保存環境温度	-10~60°C
電気	電源電圧	3.1~3.5V
	消費電流	15mA (※センサーマット接続時)
検出範囲		・垂直方向 約10度 ・水平方向 約40度

トラブルシューティング

1. センサーマットについて

症状	原因	方法
離床しても離床にならない (離床LEDが点灯しない)	電源が入っていますか	電源を入れてください
	周囲の振動の影響が考えられます	周囲の環境を確認してください
	ベッドやその周辺機器に人が触れている影響が考えられます	ベッドやその周辺機器に人が触れていないか確認してください
呼出しが鳴らない	呼出しボタン入力/ナースコール出力切替スイッチの設定が間違っている	スイッチを適正な設定にしてください
	呼出しボタン入力/ナースコール出力ケーブルが正しくつながれていない	ケーブルを正しくつないでください
体動を起こしていないのに体動LEDが点灯する	体動の設定が適正でない	体動の感度を「標準」が「大」にしてください
体動を起こしているのに体動LEDが点灯しない	体動の設定が適正でない	体動の感度を「標準」が「小」にしてください
寝ているのに入床LEDが点灯しない	正しい位置に設置されていない	正しい位置に設置してください
ベッドに誰もいないのに入床LEDが点灯する	周囲の振動の影響が考えられます	周囲の環境を確認してください

2. 受信機について

症状	原因	方法
電源が入らない	充電されていない	充電してください
充電されない	温度が低い(0°C以下)	0°C以上で充電してください
センサーマット、受信機共に電源を入れているのに通信エラーとなる	無線チャンネルが合っていない	センサーマット、受信機の電源を切り、同じ無線チャンネルに合わせてから電源を入れ直してください
	受信可能範囲を超えている	受信機を受信可能範囲へ移動してください
	外来電波の影響を受けている	無線チャンネルの変更を行ってください
アラームが鳴らない	アラーム音が「無」になっている	アラーム音の調整を行ってください
	ペアリングされていない	ペアリングしてください
ペアリングが出来ない	センサーマットの離床LEDが点灯している(アラームが発生している)	アラームを解除してください
	無線チャンネルが合っていない	無線チャンネルを合わせてください
	通信エラーが起きている	通信状態を確認してください
	グループが合っていない	グループを合わせてください
	登録済みのIDを使おうとしている	未使用のIDを選択してください
呼出しボタンが押されている	ボタンの状態を確認してください	

3. 人感センサーについて

症状	原因	方法
寝返りをしただけで人感センサーが反応する	設置位置が適正でない	設置位置を調整してください
動いていないのに人感センサーが反応する	日光や照明、他機器のリモコンの赤外光等感知している	周囲の環境を確認してください
人感センサーが反応しない	ケーブルが接続されていない	ケーブルを正しく接続してください
	周囲との温度差が小さい	4°C以上の温度差が必要です

株式会社 **プラッツ**

〒816-0921

福岡県大野城市仲畑2丁目3-17



0120-77-3433
携帯・PHS・OK

0120-77-3433

《平日 午前9時～午後5時30分》
(土日祝祭日・夏季休業日・年末年始休業除く)

'18. 12月作成

NP0223-Z